

第3期清川村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する意見と村の考え方

○実施期間：令和7年2月4日（火）～2月13日（木）

○意見提出者数（件数）：2名（11件）

お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する清川村の考え方について、次のとおり取りまとめました。誠にありがとうございました。

項番	該当箇所	意見	村の考え方
1	目次	第1章 3 位置付け（総計等との関係）・検証（進行管理）となっているが、P2では3 位置付け（総合計画等との関係）・検証（進行管理） 目次はあえて、「総計等」と略して、表記しているのでしょうか？	「総合計画等」に統一します。
2	P1 第1章 2項 趣旨及び 目的	『「第3期総合戦略」は、そのような社会情勢にあっても、次代を担う若者が将来に夢や希望を持って活躍できる環境を整備することで、持続可能な村づくりを実現し、未来永劫に発展し続ける村を作り上げることを目的として策定』との記述ですが、後に設定される4つの基本目標（P8～）を達成することで、「持続可能な村づくりの実現＝未来永劫に発展しつづける村を作り上げること」の目的が達成できるのでしょうか？「新規事業所数を増やす」「観光客を呼び込む」「合計特殊出生率をあげる」「総人口を減らさない（増やす）」これらの目標値をクリアすれば、持続可能な清川村が実現できるのか、その関係性がよくわかりません。	清川村を持続していくためには、第5章の施設の展開にあるとおり、地域への就労意欲を高めること、村の魅力を高め、交流人口・関係人口を増加させ、移住希望者を創出すること、安心して子育てができ、また家庭を持ちたいといった希望を持ってもらうこと、村に住み続けたい、戻ってきたいと思う活力と愛着を育むことが必要であり、そのためには各種の取り組みを包括的に進めていくことが必要となります。 施策の展開にある各種事業と関連するKPIを達成することで、前述の推進を図り、持続可能な清川村の実現につなげることで、基本目標にある目標値が達成されるものを考えております。

3	P2 3項 位置づけ (総合計 画と・	<p>この図並びに文言からは『「第4次総合計画」は「清川村人口ビジョン(改訂版)と整合したうえでその中の地方創生の観点からの個別計画に関して総合戦略に基づき推進していく』とされています。上位方針が総合計画であり、それに基づく詳細な個別実行計画が総合戦略であると理解しますが、その中の「KGI」、「KPI」については数値を合わせる必要があるのでしょうか？あくまでも上位方針の達成が目的であるとすると、下位の個別計画については上位方針のKGI(またはKPI)を下回らない限り、上方の目標値でもよいかと思えます。</p> <p>(実行期間についても総合計画対比で1年後ろですし。)</p>	<p>総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の関係性については、まち・ひと・しごと創生総合戦略は総合計画を上位計画とはしてはいますが、総合計画の中でも地域創生(産業の振興、交流人口・関係人口と移住・定住促進、子育て世代への支援、住み続けたい地域の構築)の分野に限定し、人口の維持と地域の持続を図ることを目的に特化した計画であると考えております。</p> <p>ただし、ご指摘のとおり第4総合計画前期基本計画と、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略は計画期間に1年間の差異があり、KPIをそれぞれで設定する考えもございますが、今回はKPIを別々とする事で目標が分かりにくくなり、また取り扱いが煩雑となることを避けるため、同じ事項については同一のKPIとさせていただきます。</p>
4	P3-5 第2章策 定の前提 1人口の 将来展望 2.現状と の乖離と 補正	<p>2024年度改訂版(令和7年1月発行)の「清川村人口ビジョン」に基づいた内容であり、「ケース6」を目標とした将来展望と認識します。この「ケース6」に基づく施策展開ですので、「出生率改善」「生存率改善」「移動率改善」「定住人口増」といった施策を講じることで、目標人口3,000名を達成することがビジョンである、とされています。つまりは総合計画/人口ビジョンで整合された人口将来展望を鑑み、前記4項目の施策を「地方創生」の観点から総合計画と整合性を取り、進めていくことと考えます。</p> <p>果たして、前記4項目が、8ページ以降の基本目標と整合性が取れているかどうか。</p>	<p>ご質問のとおり、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第4次総合計画で設定した将来目標人口を達成するための戦略であると考えております。また、このたび改訂しました人口ビジョンは総合計画策定時に推計した資料を基に時点修正を行ったものとなっております。</p> <p>第4次総合計画においては3,000人の人口を維持するため、出生数改善や定住人口増などの条件設定を行い、その実現に向けた施策展開を計画に盛り込んでおりますが、少子高齢化と人口の減少は国内全体の大きな問題として、村単独による短期的な解決を図ることが難しい状況となってきたことから、第3期まち・ひと・しごと創</p>

		<p>端的に言えば、総合計画の「水と緑あふれる心のふるさと」の実現といった「KGI」に対して、人口ビジョン3,000人の達成も「KGI」になるかもしれませんが、それぞれを達成するための創生総合戦略の基本目標、及び「KPI」がきちんと有機的に結びついて、最終的な結果・・・基本目標の達成並びに人口ビジョンの達成、総合計画の実現といったところに結びついているのかどうか。</p> <p>明確にできるのであれば、した方がいいと思います。 (結果的に最終的な評価もしやすくなると思います。)</p>	<p>生総合戦略では各施策の取り組みによる人口を維持するための施策効果の見込みを現状との乖離をふまえて補正させていただきました。</p> <p>また、第5章の施策の展開にある各種事業及び関連するKPIの達成度と、将来目標人口の達成との関係性については、個々に結びつけることは難しいですが、各施策の取り組みの目的や見込まれる効果を明確にしながらか計画的に事業を執行してまいりたいと考えております。</p>
5	<p>P-6 第3章 地域ビジョン</p>	<p>P6において「これまで第2期総合戦略に基づき……」とありますが、第2期総合戦略の評価結果と、今回の第3期総合計画の施策についての継続性・関連性を簡単にまとめたページは追加できないでしょうか？</p> <p>「第3期総合戦略においては、3つの基本的な視点を定めこれらの実現に向けたこれまでの施策効果の検証と新たな取り組みへの挑戦を推進します」と述べている通りこれまでの施策検証は今後の取組に対しても重要な指標となりますので、2期総合戦略の評価結果を別紙ではなく、継続性のあるものとして3期総合戦略の中に概略を追加できませんでしょうか？</p> <p>※2期の評価については推進会議で年次で討議・公表されているように見受けられます</p>	<p>このたびの第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっては、村まち・ひと・しごと創生推進会議を中心としてとりまとめを行ってまいりましたが、その際、同時に第2期総合戦略の評価を行い、その内容を第3期に反映させながら進行してまいりました。</p> <p>ご意見のとおり、前第2期総合戦略の実績・評価と、第3期総合戦略への継続性を示す有効性は高いと考えますが、別途の方法によりお示しさせていただきます。</p>

6	P8	<p>基本目標 1</p> <p>表の項目に、「目標値」が左側と右側にあるが、何が違うのか理解できません。右側は将来値でしょうか？</p>	<p>P8～P9「基本目標の設定」の表の項目について、左から「数値目標」、「現状値」、「目標値」に修正します。</p>
7	P8	<p>基本目標 2</p> <p>表の項目に、「数値目標」とあるが、「指標もしくは評価指標」のことでしょうか？数値目標とするのであれば、この項目には数値が記載されないと変ではないでしょうか？</p>	<p>各基本目標に係る目標であるため、数値目標が適当であると考えます。数値目標には現状値、目標値を設定しています。なお、評価指標（KPI）については各基本目標・重点施策ごとに設定しています。</p>
8	<p>P-8</p> <p>3 基本目標の設定</p> <p>基本目標 2</p> <p>数値目標</p>	<p>本項において観光入込客数目標を 250 万人としていますが第 3 期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略(R6/3)の KPI において基本目標 2-(2)-⑤「水源地域の活性化」において 2017 年～2019 年の実績値平均 848 万人から年 2%増の 2027 年度 955 万人となっています。水源地域として宮ヶ瀬ダムは該当すると思いますが、県の KPI と村の目標値はリンクしている設定されているのでしょうか</p>	<p>観光入込客数は、年に 4 回実施している神奈川県入込客数調査で県に報告しているものと同一の数字になります。また、この数字は県指定の計算方法により算出された数字となります。村の目標値の設定は県の KPI とは別のものとなりますが、宮ヶ瀬ダムは県の水源地域の一角を担う地域ですので、活性化に向け取り組んでまいりたいと考えます。</p>
9	P15	<p>重点施策 1 KPI 「DV 等の防止に関する普及啓発記事の掲載」とあるが、記事を年 2 回掲載することが、「未来につながる出会いの場の創出」につながるのでしょうか？</p>	<p>基本目標 3-重点施策 1 の主な事業中「パートナーに関する相談やサポート体制の充実」に関連した KPI となっています。啓発記事の掲載により、パートナーとのトラブル解決などにつなげ、基本目標である「叶えたい未来」をつくれるよう本 KPI を設定しています。</p>

10	P17	<p>重点施策2 KPI</p> <p>防災訓練参加率を16.0%→25.0%としているが、そもそも、参加率をホームページに公開していないため、不明である。防災訓練実施後に各自治会長が参加人数を集計し、役場へ報告しているが、結果の公開には至っていません。自助、共助、公助を有機的に連携させた防災対策が重要であるので、地域住民と行政の連携ができるよう、可能な限りの情報公開を希望します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>なお、本件の内容は、個別の質問になりますので回答はできませんが、直接担当課へご意見の趣旨を伝えさせていただきます。</p>
11	P18	<p>重点施策3 KPI</p> <p>下水道施設整備の長寿命化達成率が6.0%→18.0%となっているが、5年ごとの達成率が12.0%ずつ上昇するとなると、長寿命化達成が100%となるのは約40年後になります。予算の範囲内になると思うが、埼玉県八潮市での道路陥没事故のことを勘案し、達成率が18.0%以上となることを願っています。</p>	<p>長寿命化達成率は、対象設備数に対する達成度合いを示しています。清川村特定環境保全公共下水道ストックマネジメント計画は概ね100年を見据えた計画となっており、設備の健全度、緊急度や耐用年数を考慮しながら適正な管理に取り組んでまいります。</p>

※「該当箇所」及び「意見」につきましては、提出いただいた意見のとおりに記載しています。